

会館建設運動推進委員会座談会

保険医運動 関西の拠点に 安全で会員が 利用しやすい新会館

会員サービスのさらなる向上をめざして

大阪府保険医協会・歯科保険医協会は、現在事務所として使用している保険医会館の建て替えに向けて会館建設運動推進委員会を立ち上げ、議論を重ねてきた。現会館は2025年1月に解体を予定しており、2026年6月に新会館竣工、同年8月に新会館での事業開始を計画している。



施設の概要 現地建て替え・2026年竣工予定

地上5階/延床面積 1625㎡

5F 160人規模の多目的ホール 集会や講習会など会員のみなさまが集うスペース/災害に備えた備蓄倉庫を設置

4F 医科会議室・サロンフロア 中小の会議室や配信スタジオのほか、開架図書室やサロンスペースを設置

3F 医科事務局フロア

2F 歯科事務局フロア 応接スペースや中小の会議室を設置

1F 新会館の玄関フロア 応接ロビーや多目的トイレ、50人規模の会議室を設置

2026年 竣工 予定

大阪保険医協会 大ホール新たに

160人収容ホール 耐震・バリアフリー 災害時拠点

5つの充実ポイント

小澤：僕は新会館建設は、会員サービスをさらに向上していくための拠点づくりだと思っています。強化・充実させたい点が5つあります。

1つ目は、災害対策の拠点としての役割です。今、現会館は40年以上経過し老朽化しています。講習会中に近くの高速道路をダンパーが走る...

2つ目は、会員が利用しやすい協会へとさらに発展させることです。新会館では160人のホールが新たにできます。今まではM&Dホールでは会員ニーズに答えきれない場面がありました。今後は、先生方の様々なニーズにできる講習会・企画をさらに開催していきたい。

3つ目は、相談活動の充実です。コロナ禍では何百件という相談があり、電話や書類を持ち込まれて対面での相談にお心えして頂きました。相談環境を整え、多くの先生方のご希望に寄り添ってお手伝いできるような会議室など、設備の充実を図りたいと思います。

4つ目は、情報発信力の強化です。月3回の機関紙とFAXニュースなどを中心とした重要な情報を正確に先生方にお伝えし、

2つ目は、会員が利用しやすい協会へとさらに発展させることです。新会館では160人のホールが新たにできます。今まではM&Dホールでは会員ニーズに答えきれない場面がありました。今後は、先生方の様々なニーズにできる講習会・企画をさらに開催していきたい。

ていますが、新たなIT技術を取り入れて情報発信も先生方が利用しやすい形にしていきたい。

5つ目は、新しいニーズへの対応です。女性の先生方や勤務医の先生方

宇都宮：新会館建設は、一大事業だと思うんですが、老朽化への対応もたよりよいものを追究していく必要ももちろんあるだろうと思います。

小澤：歯科協会は1970坪の土地を購入され現会館を建てられた。1971年っていつのは、医科はちょうど10年目。歯科と保険医協同組合が、その年にそれぞれ4月と12月に設立され、ここに医科協会が会館を建設し、歯科協会と協同組合も同じ場所で活動で

拠点があつたから発展できた

診療報酬改定率 決まる

診療報酬本体 プラス0.88%

各科改定率

医科 +0.52%

歯科 +0.57%

調剤 +0.16%

12月20日、2024年診療報酬改定の改定率が決定した。なお、ネットでは5回連続のマイナス改定となった。

厚労省「疑義解釈」12月18日付

問 区分番号「M015-2」CAD/CAM冠について、CAD/CAM冠用材料(V)*を大白歯に対して使用した場合、クラウン・ブリッジ維持管理料の対象となるか。 答 対象となる。ただし、歯科用金属を原因とする金属アレルギーを有する患者に対して、CAD/CAM冠用材料(V)を大白歯に対して使用した場合は区分番号「M000-2」に掲げるクラウン・ブリッジ維持管理料の留意事項通知(4)の口の通り、対象とならない。 *PEEK冠をさす